

令和5（2023）年度（国語科）教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △）（講師：＊）

学 年	科 目 名	必修・選 択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I	現代の国語	◎	2	4	8	店田 卓郎
I	言語文化	◎	2	4	8	宮川 康
II	文学国語	◎	2	4	8	岩崎 錬
II	古典探究	◎	2	4	8	西村 聡太郎
III	国語探究		2	4	8	
	（現代文）	◎	（1）	4	（4）	宮川 康
	（古典）	◎	（1）	4	（4）	店田 卓郎
III	古典B（A・C組）	△	2	1	2	岩崎 錬
III	古典B（B・D組）	△	2	1	2	西村 聡太郎

(2) 指導計画表

科目名：現代の国語	学年：第Ⅰ学年	単位数：2	担当者名：店田 卓郎
<p>1. 指導目標</p> <p>多様な文章を読むことを通じて、実社会に存在するさまざまな問題に対する高い見識を身につけるとともに、豊かな感受性を養い、より良い人生を生きるための基礎的な力を高める。</p> <p>しっかりした読解力とそれを支える語彙力、教養を身につけ、論理的な思考能力を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。主体的に文章から物事を学び、自らの成長に繋げる姿勢を持っているか。論理的なものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>一斉授業とグループワーク、発表等を併用する。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 個別の知識を問う問題（定期テスト、小テストなど）</p> <p>【思考・判断・表現】 記述問題（定期テスト、小テストなど） 発表、提出レポート、創作物など</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業や発表などに取り組む姿勢、振り返りシートなど</p>	<p>5. 年間計画</p> <p>< 1学期 ></p> <ul style="list-style-type: none">・評論『水の東西』山崎正和・随想『不思議な拍手』細馬宏通・評論『真の自立とは』鷺田清一 <p>< 2学期 ></p> <ul style="list-style-type: none">・評論『ものと記号』池上嘉彦・評論『言葉は世界を切り分ける』今井むつみ・評論『生物の多様性とは何か』福岡伸一 <p>< 3学期 ></p> <ul style="list-style-type: none">・評論『人工知能はなぜ椅子に座れないのか』松田雄馬・評論『時間と自由の関係について』内山節		
使用教科書： 東京書籍『精選現代の国語』 副教材・テキスト等 大修館『ビジュアルカラー国語便覧』（副教材） 他プリント教材など			

科目名：言語文化	学年：第Ⅰ学年	単位数：2	担当者名：宮川 康
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古典分野を中心として、言語文化への興味・関心を広げる。 ○ 古典を読むために必要な語を習得するとともに、文語のきまりや訓読のきまりを理解する。 ○ 古典を中心として、文学作品にあらわれた文化や思想、習慣などを知識として身につける。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品やその時代について、便覧や文法・句法書、関連書籍などを活用して理解を深めようとしているか。 ○ 既習の語や文語のきまり、訓読のきまり、および当時の文化や思想、習慣についての知識をもとに、文章を読み取ることができるか。 ○ 自分にとっての作品の面白さや、現代との共通点・相違点などについて、話したり、書いたりして適切に伝えることができるか。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義中心の授業と課題学習 <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 主に考查により評価</p> <p>【思考・判断・表現】 課題作文・記述を中心とする考查により評価</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組みやノートの提出等により評価</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>古文 『宇治拾遺物語』 『伊勢物語』 古典文法（自立語）</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>古文 『徒然草』『土佐日記』 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 古典文法（付属語）</p> <p>漢文 訓読の基本 故事成語</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>古文 『奥の細道』</p> <p>漢文 『史記』『十八史略』</p>	
<p>使用教科書： 東京書籍 『精選 言語文化』</p> <p>副教材・テキスト等： 浜島書店 『新訂版 最新国語便覧』 京都書房 『高校生の古典文法 七訂版』 尚文出版 『新明説漢文』</p>			

科目名：文学国語	学年：第Ⅱ学年	単位数：2	担当者名：岩崎 錬
<p>1. 指導目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する力を育成する。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。文学作品を通じて多様な視点を獲得し、言葉を通して自己や他者、社会を分析しようとする態度を養う。</p> <p>2. 評価観点 文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。 主体的に文章から、物事を学ぶ姿勢を持っているか。 論理的にものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。</p> <p>3. 指導方法 一斉授業、ペアやグループの意見交流、発表や授業構成を中心とする言語活動を組み合わせる。</p> <p>4. 評価方法 【知識・技能】 ノート、小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワークシート、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、提出作品</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期 『靴の話』大岡昇平 『宿命を生きる若者たち』土井隆義 『山月記』中島敦</p> <p>2 学期 『こころ』夏目漱石 『永訣の朝』宮沢賢治 『麦わら帽子のへこみ』穂村弘</p> <p>3 学期 『復讐』三島由紀夫 『ランドセル』角田光代 『餓鬼道としての詩』松浦寿輝</p>	
<p>使用教科書： 桐原書店『文学国語』 副教材・テキスト等 岩波書店『『宿命』を生きる若者たち：格差と幸福をつなぐもの』</p>			

科目名：古典探究	学年：第Ⅱ学年	単位数：2	担当者名：西村 聡太郎
<p>1. 指導目標</p> <p>○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解する。</p> <p>○古典の文章や作品に表れた、人間、社会、自然などについての見方や考え方などを読み取り、自分の考えを広める。</p> <p>○古典に親しみ言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>○必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解し、古典の作品や文章の読みを確かなものにしたか、深く読み味わったりできているか。</p> <p>○語意、文法、句法、古典常識の知識を身につけ、正確な読解に結び付けられているか。</p> <p>○関心をもった事柄に関連する同時代、または異なる時代の、様々な古典の作品や文章などを読み比べることで、主体的に自分の読みを深めることができるか。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>○一斉授業と言語活動、課題学習</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>主に考査により評価</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシート、レポートの記述を中心として評価</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題やグループワークへの取り組み</p> <p>ノート等の提出物により評価</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>【古文】</p> <p>『宇治拾遺物語』『伊勢物語』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』</p> <p>【漢文】</p> <p>『戦国策』</p> <p>『古文真宝・後集』</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>【古文】</p> <p>『枕草子』『源氏物語』『更科物語』</p> <p>【漢文】</p> <p>近体詩「李白」「杜甫」など</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>【古文】</p> <p>『平家物語』</p> <p>【漢文】</p> <p>『論語』『孟子』『荀子』</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>筑摩書房『古典探究 古文編』</p> <p>筑摩書房『古典探究 漢文編』</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>数研出版 『プレミアムカラー 国語便覧』</p> <p>京都書房 『高校生の古典文法』</p> <p>尚文出版 『新明説漢文』</p>			

科目名：国語探究（現代文）	学年：第Ⅲ学年	単位：1	担当者名：宮川 康
<p>1. 指導目標</p> <p>○ 多様な文章を読むことを通じて、実社会に存在するさまざまな問題に対する高い見識を身につけるとともに、豊かな感受性を養い、より良い人生を生きるための力を高める。</p> <p>○ 文章を読み込むことによってより高い読解力を身につけ、論理的な思考能力・青年としての鑑賞能力を深める。</p> <p>○ 高校での学習の成果を生かして、現代文読解問題に対応できる力を養う。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>○ 文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができている。</p> <p>○ 主体的に文章から、物事を学ぶ姿勢を持っている。</p> <p>○ 論理的にものごとを考え、自分の考えを表現することができる。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>一斉授業中心</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>【知識・技能】 主に考査により評価</p> <p>【思考・判断・表現】 課題作文・記述を中心とする考査により評価</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題やグループワークへの取り組み・ノートの提出等により評価</p>	<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>小説『木の都』織田作之助（プリント）</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>評論『「である」ことと「する」こと』丸山真男 評論『無情ということ』小林秀雄</p> <p>その他，副教材またはプリントを用いての小説・評論読解・問題演習を行う予定</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>小説『檸檬』梶井基次郎</p>		
<p>（使用教科書）</p> <p>大修館書店『精選現代文B 新訂版』</p> <p>他プリント教材・副教材など</p>			

科目名：国語探究（古典）	学年：第Ⅲ学年	単位数：1	担当者名：店田 卓郎
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類義語、派生語、現代語とのつながり等を意識しながら、古文単語の意味を理解し、解釈に結びつける。 ・古典文法の知識を活用し、本文の正確な読解をした上で、作者・筆者の思想や感情を的確にとらえる。 ・漢文の句法の知識を身につけ、文章の構造にも注意しながら、正確な読解ができるようにする。 ・古代～近代の文学や文化、思想などに興味を持ち、現代へのつながりを意識し、人間の普遍性に対する理解を深める。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語意、文法、句法、古典常識の知識を身につけ、正確な読解に結び付けられているか。 ・展開や表現の意図、特色、他の作品との関係（文学史）を理解できているか。 ・感じたこと、考えたことを他者と共有することにより、作品への分析的読みをより深めることができているか。それらの活動を通して人間理解を深めることができているか。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には一斉授業を中心に行うが、適宜、生徒自身が本文の品詞の説明や口語訳、あらすじの説明を行うなどして授業をすすめる。 ・文法理解や自由な着想を発揮させ、創作古典に挑戦させる。 <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 小テストなどによる個別の知識の確認。定期考査。</p> <p>【思考・判断・表現】 個別の知識の融合とその発展としての記述問題。 作品への理解を深めたことを表す感想文・創作。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 宿題やノートなどの提出、発表等。 解釈や創作物の閲覧・相互評価の態度</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>【古文】 蜻蛉日記『移ろひたる菊』 和泉式部日記『夢よりも儂き世の中』</p> <p>【漢文】 歴史書『鴻門之会』</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>【古文】 源氏物語『北山の垣間見』 大鏡『花山天皇の出家』</p> <p>【漢文】 屈原『漁夫辞』</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>【古文】 平家物語『忠度の都落ち』</p> <p>【漢文】 孟榮『人面桃花』</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>三省堂『改訂版 古典B』 副教材・テキスト等 尚文出版『必携 これからの古典文法 改訂版』 数研出版『改訂版 体系漢文』 数研出版『プレミアムカラー 国語便覧』</p>			

科目名：古典B	学年：第Ⅲ学年	単位数：2	担当者名：西村 聡太郎 岩崎 錬
<p>1. 指導目標</p> <p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句、文法的知識から本文の正確な読解ができるようにする。 ・ 言葉に対する分析力、注意力を磨き、現代語とのつながりを意識したうえで、原文に忠実かつ自然な現代語訳ができるようにする。 ・ 婉曲的な表現や和歌・漢詩などを引用した文章を読み解くことで、言葉のもつ奥行きや文学的豊かさを理解する。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文を読み解く上で重要な漢字の語感を捉え、正確な読解ができるようにする。 ・ 漢文の文章構造を理解し、白文で文章が読めるようにする。 ・ 中国文学や中国の思想に触れ、現代の日本に生きる我々の考えと比較し、共通点相違点を見出すことで、人間に対する理解を深める。 <p>2. 評価観点</p> <p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が適切に読み取り、的確な現代語訳ができる。 ・ 和歌など行間を読むことが求められる文章を適切に理解し、補って説明することができる。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語や詩、評論などの文章の展開に秩序を見出して読むことができている。 ・ 文章の主題、語句の意味を適切にとらえ、現代語訳することができる。 ・ 語句と文の構造的な理解から、白文で漢文を読むことができる。 		<p>3. 指導方法</p> <p>一斉授業、または、演習形式。15～20 人程度の比較的小人数での授業のため、適宜生徒からの回答や質問に形で授業を行う。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 個別の知識を問う問題（考査、小テストなど）。</p> <p>【思考・判断・表現】 記述問題（考査、小テストなど）。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出席。提出物。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 > 演習と、必要に応じて古典文章読解や単語テストなど</p> <p>< 2、3 学期 > 演習</p>	
<p>使用教科書： なし 副教材・テキスト等 新版 理解を深める 核心古文単語 3 5 1 その他</p>			